

小さい者の一人が減びることは天にいますあなたがたの父のみ心ではない。



社会福祉法人 **小羊学園**

〒431-1304

静岡県浜松市北区細江町中川7440-1

電話：053-437-0826 FAX：053-437-0849

E-mail kohitsuji@imix.or.jp

H.P http://www.kohitsuji.or.jp/

発行人：稲松 義人

印刷所：聖隷サービス(有)

定 価：一部 30 円

2008年6月20日

第 304 号

### 一人の人生に どう寄り添うか

理事長 稲松 義人

今、青年寮に在籍するA君がまだ子どもの頃の話です。ある時、まじめな顔をして「人生って何だ」と聞いてきたことがあります。こちらが答えに窮していると、続けて「楽ってなんだ」と続けます。よくよく聞いてみると、

大好きなテレビドラマ水戸黄門の主題歌「人生、楽ありゃ苦もあるさ」の意味を聞いてきたのでした。これは小羊学園でのちょっと愉快なエピソードの一つですが、実際のところ「人生」を分かりやすく説明するのは大変難しく重いなあと思います。

A君は知的障がいと難治性のてんかんというハンディをもっているために、既に三〇年も小羊学園で生活しているのです。A君が「俺の人生っていったい何なのだろうか？」と真剣に問うてきたとしたら、私たちは何と答えることができるのでしょうか。

Y君もまた約三〇年前に小羊学園に入園してきました。彼がまだ三歳一カ月のときでした。本来は子どももの施設であるはずの児童寮に現在も在籍しており、三〇年というのは児童寮在籍者の中で最長です。入園前にご両親は

離婚しておられ、父親と二歳違いのお兄さんと生活していましたが、父親も十分な養育能力のある人ではなかったのだろうと思います。入園当時を知る職員はすでに数名しかいませんが、まだ歩くこともできず、食事も排泄も身の回りのことは全くできませんでした。A君のように言葉で自分の意思を伝えることはできませんが、自分の思うようにならないと激しく泣いて決して譲ろうとはしない頑固な性格でした。

彼が学齢に達したときには障がいの重い子どもたちにも漸く学籍が与えられるようになっていましたので、六歳でS養護学校小学部に入學し、一回二時間週二回、訪問教育というかたちで学校教育を受けました。彼が小学部六年になる年に、小羊学園では養護学校への通学が実現し、肢体不自由のない一〇名は、知的障害対象のH養護学校に転籍されました。H養護学校のスクールの乗り場までは、学園から車で一五分。スクールバスに乗って学校まで一時間弱の時間がかかりますが、ドライブが好きだったY君にとっては毎日の通学は楽しみだったのだろうと思います。Y君は中学部卒業までの四年間通学しましたが、卒業後進路を探すことはできませんでした。家庭の支えのないY君はまた毎日小羊学園での生活になりました。学園では他の年長者と同じようにグループ活動に参加しますが、毎日通っていくところのある生

活に比べるとA君にとってつまらない生活になってしまったのではないかと感じます。最近、児童虐待等の理由から養護性に欠ける児童を受け入れる施設が不足しています。小羊学園でも児童寮に在籍している成人は早く退園できるようにして欲しいという行政からの意向を聞きます。

子どもたちの将来を考えてくださる保護者がいる人については、一緒に相談しながら進路を考えていきたいと思えます。また、自分の将来のことを考えて行動する力のある子どもたち(小羊学園にはいないのですが)は、やがて自分の力で社会に巣立っていくでしょう。しかし、社会的養護の必要な知的障がいのある子どもたちの人生に寄り添って、将来のことを心配してくれるのはいったい誰なのでしょう。地域で生活している知的ハンディのある人たちが犯罪に身を染めてしまったら、悪徳商法のターゲットになってしまったらという話をよく耳にします。だったら大人の施設に移せばよいのでしょうか。新しい物を収納するところがないから、古い物を別の倉庫に移すというのとは訳が違います。A君にしてもY君にしても、小羊学園にずっといるのが一番よいとは思いませんが、福祉や教育の営みは、一人ひとりの人生に関わっているという自覚を持たなければならぬと強く思わされています。

## 次の時代を見据えて 三方原スクエアでの挑戦②

稲松 義人

以前の入所施設は、二四時間三六五日支援ができることが前提の施設でした。実際には週末や年末年始等に帰省する人もいますから、一年三六五日休まず支援している人ばかりではありませんが、一日で考えると、日中も夜も支援する施設が入所施設の役割でした。障害者自立支援法の考え方の中では、

日中活動支援と居住支援は分けられています。移転後の青年寮は、「生活介護」という日中活動支援と施設入所支援を合わせて提供する施設ということになります。知的障害児施設（児童の入所施設）は今のところ従来の施設体系のままですから、児童寮は制度的には変わりませんが、現在、児童福祉施設体系も見直しが進められています。

小羊学園では、以前から居住の場と日中活動の場を分けたいと考えてきました。昭和六〇年に青年寮を開設する前から、小羊学園の年長児の一部は、細江町内に民家をお借りし作業場として日中通う生活をしてきましたし、若樹学園（現在の支援センターわかぎ）でも、施設に入所する人たちが施設の外に通って作業するために、平成三年

工房わかぎを設置しました。

また、数年前からは地域に住むことをめざしケアホームに移ったり、そのための試行期間自活訓練棟に居住の場を移したりして、地域から小羊学園に通ってくる生活をしている人たちがいます。

ということでは、同じ小羊学園の建物を、居住の場としている人がいる一方で、日中活動の場としてそこに通ってくる人がいます。さらに、在宅の人たちが、日中一時支援や短期入所というシステムの中で頻繁に出入りしています。

三方原スクエア（移転後の建物）は、



地域ホームひだまりのメンバーで一泊旅行・足湯につかりました。

中央に事務所やサービス部門と日中活動のための機能がある支援棟があり、それを囲むように五つの居住棟が配置されています。居住棟はまさしく居住するための空間、支援棟が日中活動のために通ってくるための空間となっています。居住棟と支援棟は、職員のために渡り廊下でつながりますが、居住棟の玄関はそれぞれ外向きに配置されており、スクエアの敷地内の外周の遊歩道を通して、日中活動のために通う生活ができる構造になっています。

スクエアに住んでいて、外へ通う生活をする人がいてもいいですし、逆に在宅や地域ホーム（ケアホーム）からスクエアの支援棟に日中活動のために通ってきてよいと考えています。私たちは、障害者自立支援法が示される前から、そのようなイメージの施設づくりの構想をもっていました。従来の入所施設で朝から夜まで施設の中で暮らすのは、生活としてはあまりに退屈です。ましてや児童期から支援を受けるために施設を利用するのであれば、なおさらのこと、地域生活に近いライフスタイルを目指したいと思うのはごく自然な発想だったと思います。

経済的な面で、新しい制度が私たちの思い描いたとおりの支援のあり方をバックアップしてくれるかどうかというところ、その点が不安の大きいところですが、そこで生活する人たちにとって、住まいの空間と日中活動の場が分



ひだまりのダイニングルームに全員集合・5人のメンバーは、それぞれ自分の部屋があります。

けられていることで、日常生活が空間として構造化されて理解しやすく、落ち着いた生活支援ができるのではないかと思います。（つづく）



ひだまりのメンバーのうち3人は、日中活動として小羊学園の家政部のお手伝いに通っています。



### オートレース補助事業 完了のお知らせ

この度平成二〇年度のオートレースの補助金を受けて、左記の事業を完了いたしました。

記

一、事業名…平成二十年度オート

レース公益資金による補助事業

一、事業の内容…福祉車両整備

(移送車Ⅳ一台)

一、補助金額…一、六八五、〇〇〇円

一、実施場所…静岡県浜松市浜北区

尾野四六二―二

オリーブの樹

一、完了年月日…平成二十年七月一日  
(福) 小羊学園理事長 稲松 義人



### 公益信託

### 市川園社会福祉基金 助成事業完了報告

この度平成十九年度公益信託市川園社会福祉基金の助成を受けて、左記の事業を完了いたしました。

記

一、事業名…平成十九年度イベン

ト用機材整備事業

一、事業の内容…冷凍ストッカー、かき

水機、お好み焼き機

板二台、たこ焼き機

一、補助金額…六〇〇、〇〇〇円

一、実施場所…静岡県浜松市浜北区

平口五〇四二

支援センターわかぎ

一、完了年月日…平成二十年五月十六日  
(福) 小羊学園 支援センターわかぎ  
施設長 松原 康好



### 赤い羽根共同募金

### 受配事業完了のお知らせ

この度平成十九年度の赤い羽根共同募金受配補助金を受けて、左記の事業を完了いたしました。

記

一、事業名…平成十九年度作業用

機械整備補助事業

一、事業の内容…自動カンナ、丸鋸二

台、バンドソウ、足

踏み式空き缶圧縮機、

小型電動空き缶圧縮機

一、補助金額…一、〇三〇、〇〇〇円

一、受配施設…静岡県浜松市浜北区

尾野四六二―二

オリーブの樹

一、完了年月日…平成二十年四月二十三日  
(福) 小羊学園 オリーブの樹  
施設長 松原 康好



### ホンダ労働組合より車両

この度、ホンダ労働組合浜松支部の皆様が一時金(ボーナス)の一部をカンパした資金により、社会福祉のためにということで、小羊学園に対して車両をご贈りいただきました。地域での生活をめざすとき、移動手段の確保は重要な課題です。また、在宅で生活する方たちの相談や各所との調整など、職員が外出する機会も、以前の施設からみるとかなり多くなっています。視車両の整備が必要になっていった時期にご寄贈いただきましたことを心から喜んでいきます。



## 小羊学園を支える会総会 と 三方原スクエア(児童寮青年寮)定礎式 のご案内

小羊学園を支える会の総会を下記のとおり開催いたします。小羊学園の事業を応援して下さるお気持ちのある方ならば、誰でも出席できます。

記

日時：2008年8月30日(土)午後1時半～

場所：遠州栄光教会三方原礼拝堂集会室

内容：2007年度の支える会の事業報告、役員を選任、規約の確認など

総会の後、小羊学園の新しい建物(三方原スクエア)の定礎式と建築中の建物の一部の先行見学会をします。(午後3時頃終了の予定)

小羊学園を支える会 代表代行 小林 眞  
社会福祉法人小羊学園 理事長 稲松義人

### 地域ホームと 近隣との交流

小羊学園(児童寮青年寮)には、三つの地域ホームがあります。すでに自立支援法によるケアホームとして指定を受けている「温心寮」、児童寮の自活訓練棟「あゆみホーム」、青年寮の自活訓練棟「ひだまり」の三棟です。どれも一般の民家と隣り合わせに建っているところが、地域ホームたる所以です。

先日、草刈りに参加したあと、「お疲れさん」ということで、参加者に配られた缶ビールをひだまりの入居者たちも一本ずついただきました。ビールを飲まない彼女たちは、どうしようかと相談し、いつも建物の修繕などで

世話になっている青年寮職員のKさんにプレゼントしようということになったようです。また、五月には、ひだまりに住む仲間たちで、浜名湖畔へ一泊旅行に行ってきましたが、みんなで相談してお隣りさんにお土産を買ってきたようです。早速みんなでお届けしたところ、笑顔で受け取ってくれたと楽しそうに話してくれました。近隣の人たちと、このような日常的な交流があるところが、施設での生活とひと味違うところかなと思っています。



私事で恐縮だが、先日親戚の葬儀があって遠方まで出かけた。故人は享年百二歳、親戚の中では最長寿だった。その前日は、ある祝賀会で、九十七歳で今なお社会の一線で活躍されている日野原重明先生の記念講演をお聞きすると、きっと私たちの日々の悩みは一時の苦勞なのだろう。まさに「♪人生楽ありゃ苦もあるさ」だろう。「♪涙のあとには虹もでる。歩いてゆくんだ、しっかりと。自分の道をふみしめて〜」。とにかく暑さ厳しい毎日です。どちら様もご自愛を。

(一)

### 小羊学園移転計画

建物の外観がはっきりしてきました。



どうぞ、目標達成のために続けてお祈りください。皆さまの周囲で新たにご協力いただけそうな方をご紹介いただければ幸いです。今回も心からの感謝をもって中間報告をさせていただきます。



#### 小羊学園・移転改築計画にご協力ください

(口座名義)「小羊学園を支える会」

郵便振替口座 00890-4-45415

りそな銀行浜松支店 (普通) 040005

静岡銀行細江支店 (普通) 043483

必要があれば、募金のお願い(振込用紙)を、お送りいたします。下記へご連絡ください。

問い合わせ先：小羊学園

〒431-1304 浜松市北区細江町中川 7440-1

電話 053-437-0826

### 編集後記